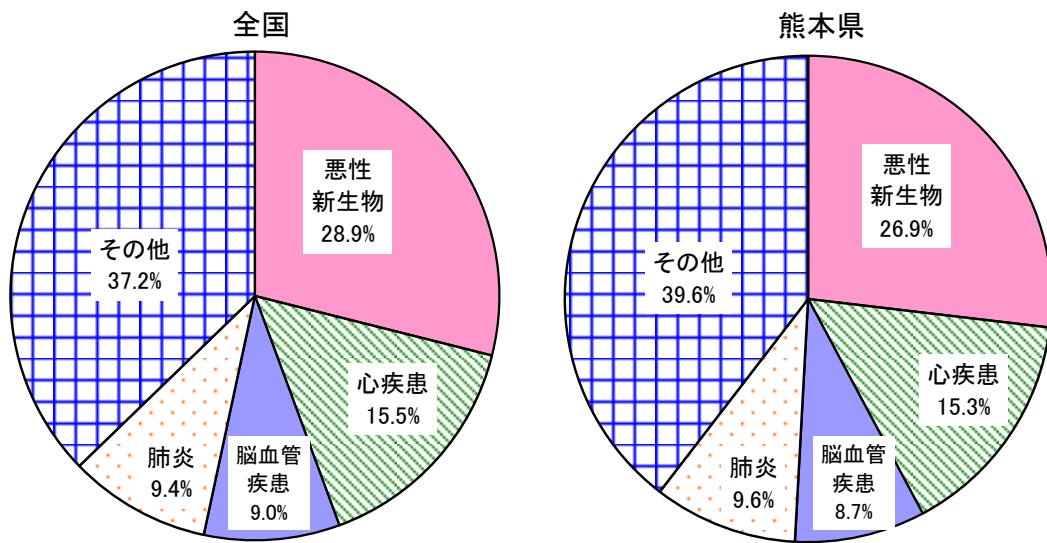


死因別死亡者数構成比（平成26年）



解 説

【概要】

平成26年の県内死亡者は20,461人であった。死因別に内訳をみると、もっとも多いのが悪性新生物の5,499人、次いで心疾患の3,135人、肺炎の1,958人、脳血管疾患の1,774人と続いており、以上4つの死因で全体の約3分の2を占めている。

○死亡者数

1月から12月の1年間に届けられた死亡者数。

○悪性新生物

一般にガンと呼ばれている病気のこと。

○心疾患

心不全、急性心筋梗塞、高血圧性心疾患などをいうが、ここでは高血圧性心疾患は含めていない。

○脳血管疾患

脳出血、脳梗塞などが含まれる。

資料出所	調査期日	調査周期
「人口動態調査」 厚生労働省	平成26年	毎年